

開物成務

令和6年度校友会総会開催

令和6年度校友会総会は6月1日(土)、母校徳間記念ホールで開催された。

今年新たに就任された。

た逗子開成学園目黒理事長、逗子開成中学・高等学校から小和田中学校長を来賓にお迎え。また、PTA賛助会から富田会長



と柳瀬さんにもご参加いただきました。午後2時半、総会に先立ち、吹奏楽部OB会が矢部政男さん(高22回)の指揮により「開成マーチ」を演奏された。その後、葉袋副幹事長(高29回)の司会で開会が宣言され、次に吹奏楽部OB会の演奏にあわせ、参加者全員で校歌斉唱。令和5年度に亡くなられた校友へ対し黙とうの後、来賓の紹介へと進んだ。

続いて後藤寿一校友会会長(高19回)が挨拶。創立120周年事業の実施報告、校友会のITを活用した今までにない新たな取り組みの紹介、PTAや賛助会との連携強化など今後の取り組みに対し、会員の協力を依頼した。

議長に網倉大介副会長(高37回)が選出された。第1号議案として、令和5年度事業及び決算報告、会計監査報告、第2号議案として、令和6年度事業計画(案)、予算(案)が上程審議され、いずれも原案の通り承認可決された。

今回の第1号議案である事業報告では野間幹事と橋山幹事により、スクリーンにパワーポイントの画像、映像を映し出し、より理解されやすい説明を行った。

第1号議案
令和5年度事業報告
令和5年度は、会費納入校友の回復と校友会運営のための財政基盤の強化を柱とした活動を目指すこととし、令和5年度事業計画を遂行しました。が、会費納入校友は947名(内27名カード決済システム利用者)で前年比44名減となり、減少に

発行責任者
逗子開成学園校友会
〒249-8510
逗子市新宿2-5-1
逗子開成学園内
TEL 046(871)2062
https://z-kaisei.org/
E-mail:info@z-kaisei.org

題字・逗子開成学園
元理事長 徳間康快氏

「開物成務」の由来
人間性を開拓・啓発し、
人としての務めをなす

歯止めがかからない状況が続く結果となりました。

(2) 地域及びクラブOB会など既存会員組織の強化、各クラブOB会と校友会組織との連携を検討した

2. 校友会活動の活性化

2. 1 コロナ5類移行に伴うイベントの復活

(1) 鎌倉会・ボート遭難碑清掃(1/27)、田邊学祖墓碑清掃(2/17)

(2) 湘南会・バーベキュー大会実施

(3) ゴルフ大会・令和5年10月18日(水曜日)実施39名参加

(4) 横須賀会・お花見の会を令和6年3月23日(土曜日)に予定するも天気等の状況により中止

2. 2 校友会HPコンテンツ強化による有効情報の拡散

(1) YouTubeチャンネルの開設による校友会のアピール開始、校歌及び応援歌のアップロード

(2) 令和6年度新入生に贈るパンフレット制作(従来は校歌等のCD配布)現在ではCD再生機器が一般的でないため、QRコード付きパンフレットにより各種情報を得てもらう方式とした

2. 3 会報「開物成務」について

69号2023年7月15日発行・創立120周年記念号(12ページ)、70号2024年1月1日発行

学校の状況や校友会の活動報告、クラブOB会の動向、活躍するOBの紹介など多彩な内容を掲載し、会員へ発送。また、各種イベント等で配布し校友会を知ってもらうツールとして有効に活用

3. 母校との連携強化

3. 1 生徒支援の更なる強化

(1) 持久走大会表彰中1〜3・個人表彰(金銀銅メダル)

高1〜2・個人表彰(金銀銅メダル)及びクラス優勝(オリジナルシャーパーペンシル)

(2) コンテスト関係中1・本紹介ゲーム・クラス代表者賞(図書カード)

中2・英語プレゼンテーション14名(図書カード)

3. 2 部活動などの課外行事に対する人的支援の検討、全国大会はじめ関東大会計7件に対し計17万円支援

次ページに続く

3. 留学支援関係ニュー
ーランド(短期14件)、
カナダ・オランダ(長期
各1件)への留学に計34
万円を支援 以上

第2号議案

令和6年度事業計画(案)

昨年も会費納入校友は
前年度を下回りました
が、この間も新たな会費
決済法やWebでのグッズ
販売等による財務改善
を目指し一定の成果が得
られました。令和6年度
はこれらの施策の他、前
年度検討開始した財務強
化策のメインとなる寄付
金制度確立や各種イベン
ト運用による幅広い校友
に寄与する活動を行うこ
ととする。

1. 財務基盤の強化

(1) 寄付金・賛助金制
度の確立

(2) 会費決済手段(会
費ペイ)の本格運用

(3) Webでのグッズ
販売とそれに伴うグッズ
開発や発送作業の確立

(4) 地区会会員の新規
勧誘及びクラブOB会と
校友会の連携による会員
増強の検討と推進

2. 各種イベントの開催

(1) 校友会本部として



葉袋新会長

小和田校長

目黒理事長

後藤会長

のイベントの検討
(2) 地区会のイベント
開催
(3) ビジネス交流の実
施
(4) 学校行事の土曜講
座への校友講師派遣
3. 校友会のPR
(1) HPの改修
(2) YouTubeの
活用で企画配信等 以上
注:令和5年度収支計算
書と令和6年度予算書
(案)は6ページ下段に
掲載しています。参照く
ださい。

第3号議案

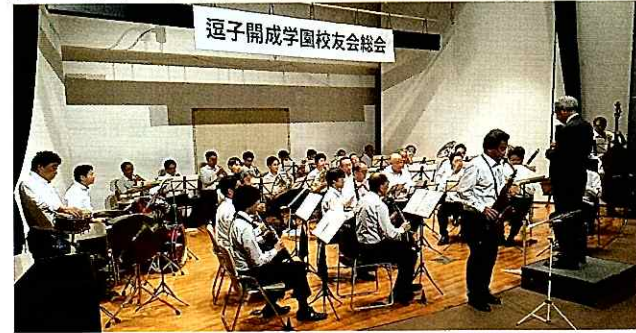
校友会役員改選(案)

現役員は、本総会の終
了をもって任期満了とな
るので、校友会会則第10
条1項の定めにより、総
会において新役員の選出
を行う。新役員候補者は、
以下のとおり。
会長 葉袋 純二(高
29回・川崎横浜会) 新任
副会長 櫛引 信明(高
17回・鎌倉会) 新任
副会長 畑野 英司(高
21回・川崎横浜会) 再任
副会長 西澤 輝(高

22回・湘南会) 再任
副会長 網倉 大介(高
37回・横須賀三浦会)
再任
幹事長 矢込 泰敏(高
41回・川崎横浜会) 新任
監事 菊地 一憲(高
16回・横須賀三浦会)
新任
監事 鈴木 克幸(高
16回・逗子葉山会) 新任
会計 落合 和仁(高
18回・東京会) 再任
会計 畑野 英司(高
21回・川崎横浜会) 再任
なお、上記以外の役員に
ついては、会長が指名す
る。 以上

◇

令和6年度の総会
は会員の皆様の承認
を得て無事に閉会し
ました。葉袋新会長
の挨拶の後、目黒理
事長からは昨年末ま
で校友会幹事長とし
ての仕事についての
思いと今後の学校経
営について話をいた
だきました。
続いて小和田校長
よりこれからの10年
に向けた取り組みに
ついて話していただき
ました。
総会は滞りなく進



行、終了し、その後吹奏
楽部OB会によるアトラ
クションの演奏が行われ
ました。今回は36名の参
加をいただきました。
今年も趣向を変えた選
曲と素晴らしいアレン
ジ、また、36名という大
勢の編成で迫力ある逗子
開成サウンドを披露いた
だき、満喫しました。
例年通り場所を海洋教
育センターに移して令和
6年度の懇親会が行われ
ました。
今年の懇親会は葉袋新
会長の新たな発進の意味
もあり、幅広い年齢層の
会員の方々がこれからの



校友会総会・懇親会に参加していただいた校友の皆様

校友会を盛り上げるべく
和やかな時間が過ぎまし
た。
宴もたけなわの中、吹
奏楽部OBの演奏で応援
歌を大合唱、最後に後藤
前校友会会長のリーダー

により校歌とエールで締
めくりました。
逗子湾の穏やかな波を
バックに集合写真を撮
り、懇親会を終了しまし
た。

新校友会会長挨拶



逗子開成学園校友会

会長 葉袋 純二
(高29回)

このたび令和6年度校友会総会におきまして後藤会長の後任として、図らずも第18代校友会長に選任されました。もとより浅学非才の身でありますが、校友の皆さま方のお力添えを賜り務めて参る所存です。

さて、母校は121年に及ぶ歴史のなか幾多の

退任にあたって



逗子開成学園校友会

前会長 後藤 寿一
(高19回)

校友会会員の皆様、4年間ご協力いただき誠にありがとうございました。会長就任当初は、新型コロナウイルスの影響で私達の生活様式は大きく変化し、校友会の活動

も大幅に制限、自粛を余儀なくされた中、会の運営は手探りの状態が続きましたが、令和4年の7月からようやく対面での幹事会を開催することが出来ました。

けた成果であると思えます。校友会におきましては、令和2年から続いた世界的パンデミックが開け、新たな一歩を踏み出すタイミングであると考えております。昨年、リニューアルしました校友会HPや今年度総会においての活動計画でもお伝えしておりますが、以下の点を特に重点項目といたします。

- 地区会、同期会、クラブOB会など既存会員組織の活動活性化
- ビジネス機会の提供など校友ネットワークづくりを進め、新規会員増強を図る

令和5年の6月3日には4年ぶりに会員の皆様との対面による定時総会を実施。この年は母校創立120周年という節目の年にあたり、校友会としても会員の皆様と共に記念事業の一端を担うことが出来たことは大変光栄なことでした。令和6年度からは130周年にむけてのスタートとなります。この移り変わりの激しい社会状況の中で校友会も流動的な

□母校ステークホルダーの一員としてPTA、PTA賛助会との連携を深め、生徒皆さんの学業等の活動におけるサポートをさらに充実させる

この他にもいくつもの課題はありますが、着実に一歩ずつ進め校友の輪を広げて参ります。校友の皆さまにおかれましては、これからもご健であることを切に祈念し、物心両面にわたり変わらぬご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

対応が求められ、各幹事が専門分化した役割を担うこととなりますが、ボランティアの組織であるということ念頭に、組織を分断させることなく末長く継続出来る校友会であってほしいと思っております。これからは葉袋新会長のもと力を結集し、新たな校友会に進展していきますことを祈念申し上げます。御礼のご挨拶とさせていただきます。

令和6年度横須賀会総会及び懇親会報告

横須賀会総会を6月8日(土)午後4時30分より市内三笠通り地球堂2階にて36名のご出席を頂き開催しました。5年度事業報告、横須賀会発足60周年記念の事案及び決算報告、並びに6年度事業計画、予算案等全て滞りなく承認頂きました。6年度事業・行事計画は昨年度に引き続き、会員増強、組織強化を基本に実行してまいります。皆様方のご協力、ご支援よろしくお願い致します。

旧43期の岩澤稔先輩の「体が動く限り参加します！」との力強い掛け声の乾杯で始まり、今回はアトラクションとして、マリンバ演奏の第一人者加島薫さんとピアノ神田雅栄さんによる素晴らしいマリンバ演奏をお願い致しました。聞いた事のない音色での、「春鎌倉」と「真白き富士の根」は心に沁みましました。恒例の会員各位の自己紹介で仲間の絆を深め、盛大で楽しいあつという間の2時間でした。最後は

ご来賓方々の紹介 逗子開成学園事務長 岩佐直樹様、逗子開成学園校友会会長 葉袋純二様、逗子葉山会会長 鈴木克幸様、三浦会会長 菊地一憲様、逗子開成学園校友会前会長 後藤寿一様。懇親会を終了後、地球堂3階に場所を移し開催いたしました。お忙しい中、鎌倉会会長榎引信明様にもご出席を頂きました。



令和6年度逗子開成学園校友会横須賀会総会

前校友会会長の後藤寿一氏による校歌のエンルで会を閉めました。皆様ご協力有難うございました。横須賀会会長 網倉 大介(高37回)

2024年度大学合格実績

国公立大学	2024年度		2023年度	
	合格	現役	合格	現役
東京大	4	3	7	7
東京工業大	4	3	7	7
一橋大	9	7	6	6
京大	6	5	5	4
北海道大	14	11	17	12
東北大	4	4	10	9
大阪大	3	2	2	2
名古屋大	1	1	1	1
神戸大	1	1	3	2
九州大	2	2	2	2
横浜国立大	18	16	21	20
横浜市立大	4	4	2	2
東京都立大	3	3	4	4
東京海洋大	6	4	4	3
東京芸術大	2	1	1	1
東京農工大	2	2	2	2
電気通信大	3	2	3	4
筑波大	3	3	4	3
千葉大	3	2	5	3
信州大	2	2	3	2
その他国立	20	12	20	17
国立大学合計	114	87	129	109

私立大学	2024年度		2023年度	
	合格	現役	合格	現役
早稲田大	88	76	84	68
慶應義塾大	51	40	62	54
上智大	42	25	58	46
国際基督教大	1	1	3	3
東京理科大	66	53	105	85
明治大	118	95	155	138
青山学院大	43	33	35	30
立教大	43	31	48	40
中央大	63	50	68	57
法政大	59	47	52	45
学習院大	15	13	6	3
立命館大	11	11	7	7
同志社大	2	2	1	1
その他私立大	370	273	446	324
私立大学合計	972	750	1130	900

防衛医科大	2	2
水産大	1	1

医学部	42	26
-----	----	----

2024年度 中学入試結果

	1次入試	2次入試	3次入試	帰国生入試
入試実施日	2月1日(火)	2月3日(木)	2月5日(土)	12月25日(土)
合格発表	2月2日(水)	2月4日(金)	2月6日(日)	12月25日(土)
募集人数	150名	50名	50名	若干名
志願者数	423名	385名	390名	63名
名目倍率	2.82倍	7.70倍	7.80倍	---
受験者数	415名	348名	352名	61名
合格者数	205名	87名	96名	28名
実質倍率	2.02倍	4.00倍	3.67倍	2.18倍
入学者数	122名	68名	75名	14名
合格最高点	417点	374点	431点	
合格最低点	313点	295点	307点	☆
合格者平均点	346.8点	317.6点	333.4点	
受験者平均点	306.1点	267.8点	277.7点	



「我々は戦争にどう立ち向かうか」
 名城大学法学部准教授 葉袋佳祐さん(高56回)

1月30日(火)、母校・徳間記念ホールでの、生徒会主催の120周年記念イベントに校友の葉袋佳祐さん(高56回)を講師に迎え、講演会が開催された。

葉袋さんは、慶應義塾大学法学部法律学科を卒業後、慶應義塾大学

「我々は戦争にどう立ち向かうか」というテーマで、戦争はなぜ起きるのか？戦争は悪か？なぜ国際社会は戦争を止められないのか？戦争にルールはあるのか？戦争をなくすため

中1から高3までの生徒に加え、学校役員、校友会員など70名ほどが集まった講演会は、「我々は戦争にどう立ち向かうか」というテーマで、戦争はなぜ起きるのか？戦争は悪か？なぜ国際社会は戦争を止められないのか？戦争にルールはあるのか？戦争をなくすため

最後の疑問には「アイヒマン裁判」が取り上げられた。1961年、エルサルバドルでの裁判を傍聴した哲学者ハンナ・アレントは、ユダヤ人大虐殺に関与したナチス高官のアイヒマンについて根源的な悪を体現する者ではなく、多角的な思考が

「我々は戦争にどう立ち向かうか」
 名城大学法学部准教授 葉袋佳祐さん(高56回)

に私たちが何ができるのか？ こうした様々な疑問について、世界のルールである国際法の観点から生徒たちにもわかりやすく語られた。

「一人一人が、他人の立場に立つて多角的にものごとを考えられるような人、自分の言葉で自分の考えを語るこ

欠如している者に過ぎなかったと評した。アレントは、誰もが陥り得るこうした思考欠如状態を「悪の凡庸さ」と名付け、これこそが人類最大の悪を生み出すものであるとして警鐘を鳴らした。

「一人一人が、他人の立場に立つて多角的にものごとを考えられるような人、自分の言葉で自分の考えを語るこ

「我々は戦争にどう立ち向かうか」
 名城大学法学部准教授 葉袋佳祐さん(高56回)

「我々は戦争にどう立ち向かうか」
 名城大学法学部准教授 葉袋佳祐さん(高56回)

逗子開成中学校・高等学校
 生徒会主催120周年記念講演会

我々は戦争にどう立ち向かうか

— 人類の叡智と限界 —

高56回 2024年度 葉袋 佳祐
 名城大学法学部准教授
 講師 佳祐 葉袋

「我々は戦争にどう立ち向かうか」
 名城大学法学部准教授 葉袋佳祐さん(高56回)

「我々は戦争にどう立ち向かうか」
 名城大学法学部准教授 葉袋佳祐さん(高56回)

「我々は戦争にどう立ち向かうか」
 名城大学法学部准教授 葉袋佳祐さん(高56回)

「我々は戦争にどう立ち向かうか」
 名城大学法学部准教授 葉袋佳祐さん(高56回)

「我々は戦争にどう立ち向かうか」
 名城大学法学部准教授 葉袋佳祐さん(高56回)

「我々は戦争にどう立ち向かうか」
 名城大学法学部准教授 葉袋佳祐さん(高56回)

相撲部OB会総会を開催

令和6年4月28日、相撲部OB会総会を母校研修センターで開催しました。事前に柔道部OB会の坂巻さんから柔道部OB会総会後の懇親会にお誘いをいただき、その日程に合わせての開催となりました。

総会では事業報告、決算報告と6年度の計画案が承認された後、役員が改選が行われ、会長に梶朋宏(高37回) 副会長に浜口司(高30回) が選任され、新しい相撲部OB会が発進しました。

総会終了後には場所を海洋教育センターに移し、柔道部OB会のご厚意により総会、懇親会に参加。懇親会では笠原先生や現役の柔道部員が参加して、相撲大会に参加している生徒と話す機会をもらいました。

残念ながら今年も日程の関係で相撲大会へは不参加でしたが、来年以降の参加を期待して引き続き応援、指導していきます。

大須賀裕司(高29回)

- 「我々は戦争にどう立ち向かうか」
 名城大学法学部准教授 葉袋佳祐さん(高56回)
- 「我々は戦争にどう立ち向かうか」
 名城大学法学部准教授 葉袋佳祐さん(高56回)



「我々は戦争にどう立ち向かうか」
 名城大学法学部准教授 葉袋佳祐さん(高56回)

「我々は戦争にどう立ち向かうか」
 名城大学法学部准教授 葉袋佳祐さん(高56回)

- 「我々は戦争にどう立ち向かうか」
 名城大学法学部准教授 葉袋佳祐さん(高56回)
- 「我々は戦争にどう立ち向かうか」
 名城大学法学部准教授 葉袋佳祐さん(高56回)

コラボビーチサンダルの収益金寄贈



贈呈式：2024年2月13日
後藤校友会長より北島生徒会長へ
(先輩から後輩へ熱き想いの贈呈)

学校創立120周年 生徒とのコラボ事業
営々とつながる我が母校！

120周年記念事業のひとつとして生徒会・校友会で共同企画し作成した「葉山販売した」の収益金を生徒会活動に役立て頂くことを目的として贈呈しました。

商品開発委員会からのお知らせ

昨年から事業部改め商品開発委員会として新しい校友会グッズの開発に取り組みました。

新商品としてはシャーパー(シャープペンシル&赤黒のボールペン)、定番のマフラータオル、学園創立120周年記念ロゴ入りのTシャツ(ホワイト、ターコイズブルー

ーン)、「スウェット《トレナー》(パーガンディ、ネイビーブルー、アイビーグリーン、ミックスグリーン)、ヨコハマ元町ポニー製ネクタイなどなど。

そして在校生と葉山げんべい商店とのコラボで制作したビーチサンダルも出来上がりました。

校友会の会費納入方法の改善について

校友会では、これまで会費の納付方法が現金納付かゆうちょ銀行の払込に限定されており、新規会員の獲得が難しい状況にありました。また、会費の支払い管理が手動で行われていたため、払い漏れが発生することがありました。

1995年度からの年会費制度はこれまでゆうちょ銀行口座への払い込みだけでしたが、この課題を解決するために、校友会は複数の手段を検討しました。その結果、手数料や維持費の安さ、管理機能の使いやすさを考慮し、会費ペイの導入を決定しました。

会費ペイを導入することで、従来の現金納付やゆうちょ銀行の払込に加えて、多様な決済手段(クレジットカード払い、コンビニ決済、口座振替)が利用でき、会費納入がしやすくなりました。

また、会費の管理をシステム化することで、自動徴収や支払催促などの業務を効率的に行えるようになり、手動での管理から解放されました。システムの維持費用については、従来の方法と同程度であり、初期費用や月額費用はかかりません。

初回登録は、申し込みフォームに入力して送信しますが、これには住所、氏名などのほかに、在学時に所属したクラブ活動なども入力出来るので、その情報を用いてOB会の活性化に繋げることが出来ます。また、継続課

制作した商品は開成祭やホームカミングデーなど学校行事に合わせた対面販売を中心としていますが、新たに通信販売を試みたところ、今までにない反響があり上々の売れ行きでした。また、代金の支払い方法も現金

販売の他に振込みやキャッシュレス決済を取り入れたことで販売実績が伸びたと考えられます。

これらの収益は、在校生の部活動遠征や海外留学等の一部費用に充当するなど在校生のために有効活用させていただいて

金を選択すると、1回の手続きで毎年指定の決済で自動的に払い込みが出来ます。

詳細については、校友会ホームページの「会費納入のお願い」ページをご覧ください。

会費ペイ導入の結果として、以下の効果が得られました。

一、既存の会費納入方法に加え、新たな決済手段の追加により、新規会員の獲得が容易になりました。導入後4カ月で27人の新規校友が会費ペイを利用して登録してくれました。

二、自動徴収機能により、払い漏れが発生することがなくなり、会費の回収率が向上しました。

三、クレジットカード決済の導入により、会費納入のみならず、グッズ販売でもクレジットカード決済が利用できるようになりました。購入者全体の約四分の一がクレジットカード決済を利用しています。

四、管理機能の充実により、支払い状況の把握が容易になり、会費管理の効率が大幅に向上しました。

会員の反応も良好で、特に若い世代からは「会費の払込が面倒ではなくて助かる」との声が寄せられています。

なお、ゆうちょ銀行払込取扱票も従来通り利用可能です。これにより、現金納付やゆうちょ銀行の払い込みを希望する方も、従来の方法を引き続きご利用いただけます。

このように、会費ペイの導入により、校友会の運営がより円滑に進むようになり、会員の皆様にとっても便利で利用しやすいサービスを提供してまいります。

カード決済

コンビニ決済

口座振替



ZUSHI KAISEI
JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL
SINCE 1903

商品開発委員会
西澤 輝 (高2回)
校友会ホームページ
<https://z-kaisei.org/>
お問い合わせ先
info@z-kaisei.org



「吹奏楽部創部100周年」に向け進発式を開催

私たち吹奏楽部は、前身である振武隊が発足して2028年で100周年を迎えます。そこ

で、去る3月23日(土)、100周年に向けた進発式を、総勢124名(来賓4名、先生3名、在校生50名、OB67名)にて挙行了しました。第一部式典は、トラン



在校生によるクラリネット四重奏

飯島和久さん(高29回)

記念事業の発表に続き在校生とOBより、それぞれ演奏が披露されました。在校生はクラリネット四重奏。かねてより逗子開成が得意とする木管楽器の優しい音色で会場が満たされました。そして、OBは飯島和久さん

100周年記念事業の方針について発表があり、以下3つのテーマに取り組みることが決まりました。①記念式典の開催 ②記念誌の編纂 ③在校生とOBによる記念演奏会の開催。

100周年記念事業の方針について発表があり、以下3つのテーマに取り組みることが決まりました。①記念式典の開催 ②記念誌の編纂 ③在校生とOBによる記念演奏会の開催。

1977年卒、上野学園大学短期大学部音楽科教授)によるフルート演奏。音楽がもつ、人を感動させる力に圧倒されました。

そして、海洋教育センターに場所を移し、板倉駿夫さん(1965年卒、元読売日本交響楽団首席トランペット奏者)による乾杯の発声で第二部の懇親会が開かれました。和やかな雰囲気でお話

1977年卒、上野学園大学短期大学部音楽科教授)によるフルート演奏。音楽がもつ、人を感動させる力に圧倒されました。

令和6年度予算(案) 令和6年4月1日~令和7年3月31日

令和5年度収支計算書 令和5年4月1日~令和6年3月31日

Table with columns: 一級会計, 科目, 予算額, 実績, 差額, 単価, 門別. Rows include 総務収入の部, 経常収入の部, 経常支出の部, etc.

Table with columns: 二級会計, 科目, 予算額, 実績, 差額, 単価, 門別. Rows include 経常収入の部, 経常支出の部, 非常収入の部, etc.

これからも私たち吹奏楽部は創部100周年記念事業、さらにその先へと、逗子開成学園吹奏楽部OB会代表 大西 勝也(高39回) 参ります。どうぞこれか

らもご支援とご賛同をお願い致します。

柔道部OB会総会開催

初夏を感じさせるような心地良い暑さの中、4月28日に逗子開成学園柔道部OB会の総会が、母校海洋教育センターを貸し切り、執り行われました。本年はゴールデンウィーク初日にもかかわらず、OB、現役30名を超える参加者を得て、半世紀を超えるOB会員が一同に介しました。総会で

は、事業決算報告並びに事業計画、予算案が提案され、慎重審議を経て全会一致で承認されました。議事に続き、高橋茂会長(高13回)から現役柔道部の実績やOB会の活動について報告がされ、特に昨年、柔道の殿堂である講道館大道場で開催された「第5回文武両道

杯全国高校柔道大会」において、前年の予選リーグ敗退の雪辱を晴らし、決勝トーナメントに進出したことが紹介された。現役部員の活躍に参加したOB諸氏は大いに盛り上がりました。

本年においても、一層の活躍を期待して、合宿等への差し入れや、卒業生への記念品贈呈など、OB会として、積極的に柔道部を支援して行く事に決まっています。なほ、総会では、顧問である山田泰之先輩(高12回)や校友会後藤寿一会長(高19回)のお言葉を頂戴し、花を添えていただきました。また、今年も、現役が相撲大会にも出場させていただいての事から、ゲストとして、相撲部OB会の千葉先輩(高10回)校友会歴代会長)を筆頭に相撲部OB会役員6名の参加をいただき、旧交を深める事が出来まし

総会が執り行われたのち、海洋教育センターにて懇親会が催された。食事を楽しみながら親睦を深め、各々の近況や当時の思い出など話題が尽きる事なかつた。会の途中では在校生、OBの自己紹介が行われ、柔道部に入部した理由を一人一人が話す場面があった。「強くなりたかつたから」「自分に合つてそうだった」「友人とともに入部したは良いが気づいたら自分だけになつていた」など人それぞれでも興味深かつた。様々な人

との関りやきつかけが、柔道を通して多くの先輩や後輩との出会いに繋がっているのだと強く感じた場であつた。私自身、OB会に参加するのは初めてであり、在学時にもOBの先輩方とお会いする機会はほとんどなかつた。今回の懇親会で多くの先輩方に初めてお会いし、様々な話を伺うことができた。柔道部の過去や最近の出来事から、仕事のこと、趣味のことなど多岐にわたる話題を幅広い年代の先輩と話すことができたの

は非常に有意義な時間であつた。そのなかでも特に印象的だつたのは、在校生に對する応援したいという思いの強さであつた。OB会の支援が部活動の一助となり、在校生がのびのびと思ひ切り学校生活を謳歌してほしいとOBの誰もが思っているのではないだろうか。あわよくば、彼らが卒業した時に「今度自分たちが後輩を支えたい」と、支援する側に回り在校生とOBの繋がりが永く続いていったら嬉しく思う。今

になりませう。なほ、総会では、顧問である山田泰之先輩(高12回)や校友会後藤寿一会長(高19回)のお言葉を頂戴し、花を添えていただきました。また、今年も、現役が相撲大会にも出場させていただいての事から、ゲストとして、相撲部OB会の千葉先輩(高10回)校友会歴代会長)を筆頭に相撲部OB会役員6名の参加をいただき、旧交を深める事が出来まし

た。懇親会では、各々の近況や当時の思い出話など話題は尽きることはありませんでした。一同、来年の再会を期して、後藤先輩のリードで開成節、校歌を斉唱しお開きとなりました。現役支援と会員交流を目的として、本年も柔道部OB会は一層活発に活動して参ります。柔道部OB会事務局 坂巻健一郎(高14回)

「武道から広がる繋がり」の輪

OB会を存続させていくために若手の参加が必要不可欠であるというの

は言うまでもないが、高校生の子からすれば年が近いほど(特に大学生などであれば)進学のことなども相談しやすいはずである。後輩たちのためにも若手OBの皆様には積極的に参加していただく。

この日、総会に先立って練習会が行われてお

た。追浜柔友会の小中学生との合同稽古で在校生は汗を流していた。高校生から積極的に小中学生に声をかけ技の指導や稽古を行つており、周りをよく見て安全に気を付けている姿や、小さな子に目線を合わせて分かりやすく伝えようと工夫する様子を見る事ができた。逗子開成学園柔道部だけでなく、地域の校友会や相撲部の先輩方など、部活動を通じて広が

つていく人と人の繋がりを強く感じる一日であつた。

長塚真輝(高72回)



山形県で新たなスタート

山形大学医学部

石丸 翔也(高76回)

こんにちは。はじめまして、高76回の石丸翔也です。学部へ進学しました。受験勉強は、10ヶ月間のカ



令和六年度 山形大学入学式

ナダ留学から帰国した高校2年の夏から本格的に取り組みました。そこからの一年半は、勉強とバスケ部との両立でとても早く感じました。温かく見守ってくださった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

そしてこの度は校友会会長の後藤さんから、現在山形県在住の校友会の山根さんを紹介していただきました。山根さんには、山形の様子等を教えてくださいました。山形

はじめの土地で知り合いがいなかったため、とても心強く感じています。逗子開成学園校友会の繋がりに感謝しています。私も将来は何かお役に立てればと思っ

これからの感謝の気持ちを忘れず、勉強とバスケット部の両方で「よく学び、よく遊び」、目標に向かって頑張ります。校友会の皆さん、これからもよろしくお

52会開催しました

(昭和49年入学の会)

お久しぶりです！恩師3人。坂田先生、飯干先生、江成先生。

3 恩師、お元気で良かった。同級生も老けてはいるけれど、健康で良かった。懐かしい、ただ名前が浮かんで来ない。認知症かと心配になる。

時々、連絡をとっている友の名前なんかか覚えていません。ヨッ誰だっけと同級生なので、軽く話しかけられるから、安心できます。懇親会になると、逗子開成時代の想い

出話に花が咲きました。夏休みの補習授業後に勉強よりも海水浴目当てと思われても仕方ない目の前の逗子海岸の海に同級生と夕方まで泳ぎ続けて、高校に設置してあるシャワー浴びて帰宅した記憶。

また、高校近くの披露山公園に中間テスト期末テスト後に同級生と行き、公園の休憩所でアイスを食べながら将来の事を話したり、帰宅方向が同じだった友と、同

級生のご両親が経営している食堂『披露山』にやはりテスト後のご褒美で食べたラーメンの味は忘れられない思い出です。英語の成績が中学時代良くなかった牛尾にとって、逗子開成が基礎から学び直す必要と中学1年の英語の教科書から学び直させてくれた事はとてもありがたかったです。



牛尾 貢(高29回)

追悼 棚橋 静雄

(高9回)

逗子開成で中学・高校と学び、卒業後青山学院入学。

高校時代は水泳部に所属し、高三の時にはバタフライで国体出場。

青山学院卒業後ロスイنديオスのリーダーに就任。

昭和44年「コモエスタ赤坂」でデビュー

同年「知りすぎたのね」がヒット

昭和53年 女性ポカール 追伸、校友会主催のチャリティー音楽祭「真白き富士の根」3回、東京会総会2回、横須賀会総会2回、ゲストとして招待を受け、歌を披露。多くの校友から親しまれた。三田村 泰秀(高9回)



ボート遭難碑清掃 1月27日実施

今年にはコロナの影響もなく、校友6名と鎌倉会より会長と幹事の4名、計10名で清掃を行いました。この日は気温は低い



田邊学祖の墓参 2月17日実施

2月17日(土) 11時より、校友会会長及び副幹事長と鎌倉会より会長及び幹事3名の計5名で墓参を実施、母校は昨年創立120周年をむかえ、今年から新たなスタートを切りました。

田邊学祖の開学の精神を尊重しつつ改革が進んでいくことを感じています。稲村ケ崎ボート遭難碑



鎌倉会会長 榊引 信明(高17回)



逗子開成学園賛助会の紹介

昨年の開成祭で校友会の喫茶コーナーの手伝いで活躍した逗子開成学園賛助会の活動内容についてご紹介します

会長よりご挨拶



賛助会 富田 会長

校友の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

卒業生保護者の会「逗子開成賛助会」をご紹介させていただきます。

本会は、逗子開成での素敵な出会いと絆を大切にしたいと願う逗子開成ファンの保護者が、子供達の卒業後も感謝の気持ちをもちながら活動・交流を続けるコミュニケーションを目指して、2018年に発足いたしました。

学校行事への参加やボランティア活動などを通じて、校友の皆様、PTAの皆様とも密に連携して、生徒達を応援し学園の発展に貢献できるよう努めてまいります。

逗子開成での御縁は、人生を豊かにし成長させてくれるものと確信しております。

よろしく願い申し上げます。

逗子開成学園賛助会会長

富田 直也

活動内容

逗子開成学園賛助会は、逗子開成学園を卒業された生徒の保護者の方と教職員の皆様のご参加頂けます。

- ・ 定期活動として
 - ・ ボランティア活動
 - ・ (海岸清掃・花壇整備 等)
 - ・ 交流活動
 - ・ (講習会開催・慰安旅行 等)
- ・ 開成祭出店
- ・ 第二回保護者セミナーのファシリテーター

を行っております。

毎年8月には定期総会を開催し、会員の皆様には海洋センターから見える海を楽しんで頂いております。

今年度からは現役PTAの皆様と校友会の皆様との交流を深めてよりパワーアップした活動をしていきたいと考えております。

入会希望は随時受付をしております。

卒業生保護者の皆様、この機会に賛助会に入会してみませんか？

お問い合わせ・お申し込みはメール(tcp@zushikaisai.com)またはLINE登録にてお願い致します。

会員募集中！
詳しくはHPへ



LINE登録
はこちら



浴衣講習会



日帰り旅行



賛助会総会

ヨット帆布のアップサイクル

昨年の開成祭はコロナ禍後の落ち着きもあり、久しぶりに在校生関係者以外の方の参加も可能になりました。

賛助会では開成祭を盛り上げようと会員の手作り品を販売しました。

今年の開成祭では海洋教育の吉田邦明先生とヨット部顧問の風間啓一先生のご協力を得て、不要になったセーラーを頂きアップサイクル品を販売する計画を立てて検討を開始しております！

開成祭では賛助会ブースに足を運んで頂けましたら幸いです。

(担当 丸山)



逗子海岸清掃活動

逗子海岸の清掃活動は社会貢献の一環として中学校1年生から高校2年生までの各学年が1回ずつ地域の清掃活動を実施するというもので、1998年より継続している行事です。

昨年SDGSという言葉をよく耳にしますが2015年に国連総会で宣言されるよりずっと以前から環境に配慮した地域活動を行ってきた実績は素晴らしく、生徒達に気づきの機会を提供してくださった学校方針に頭の下がる思いです。

私達賛助会員もPTA・O・B・OGとしてこの活動に関わる事を誇りに感じ、学校を通していただいたご縁を大切にこれからは陰ながら活動を応援して行きたいと思えます。

(担当 武藤)



花壇の整備のお手伝い

2019年からフラワースクールの方々が毎年活動されていた学校の花壇整備のお手伝いをさせていただく機会をいただきました。

雑草を抜き、土を耕し、花を植えるという作業でしたが、久しぶりに会う仲間との共同作業がとても気持ち良く感じました。

恥ずかしながら、花壇の整備がPTA・O・B・OGの方々の厚意で行われているということを知りませんでした。こうした方々にもこの学校は支えられているのだということを改めて認識しました。以降何度かこうした活動に参加しております。

(担当 花田)



